

## 【岩手県普代村】

# 1人1台端末の利活用に係る計画

### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

子どもたちの多様化が進む中で、児童生徒の1人1人に応じた指導・支援がより必要になっているため、ICTの特性や強みを生かし「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、児童生徒の成長の最大化を図る。

### 2. GIGA第1期の総括

令和2年度に1人1台タブレットを導入し、紙媒体のドリル教材だけではなく長期休暇中の宿題にデジタル学習機能を活用することで、自主学習にも意欲的に取り組むことができています。また、共同学習ツールの活用により、自分の考えを自分の中だけにとどめず発信できりようになり、自分以外の考え方に触れる機会が増えた。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

「個別最適な学び」が進められるよう、教員にはこれまで以上に子どもの成長やつまづき悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや子どもが自らの学習状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していくことが求められるため、例えば下記の記載事例のようにタブレット等を効果的に活用していく必要がある。

- ・教育データに基づく児童生徒の実態把握、実態に応じた指導の個別化（学習の遅れがちな児童生徒に対するフォロー、発展的な学習の実施）にタブレット（例えば、デジタルドリル）を活用する。
- ・児童生徒が「自分で調べる場面」、「自分の考えをまとめ、発表・表現する場面」、「児童生徒同士や教員とのやり取りする場面」において、積極的に1人1台端末を活用することができるよう具体的な活用事例など、積極的な情報提供を行う。
- ・不登校の児童生徒、障がいのある児童生徒等、特別な支援を要する児童生徒に対して、学習支援ツール等のICTを活用することで学びの場を提供し、学習機会を確保していく。

なお、教員が不足するなか、個別最適な学びを行うにあたり、上記取組は必須であり、端末の整備・更新により児童生徒向けの1人1台端末環境を引き続き維持することは当然に必要である。